

1 【補助事業概要の広報資料】

整理番号 25-51
補助事業名 平成25年度ドイツ中堅・中小機械メーカーの国際競争力の調査研究補助事業
補助事業者名 一般財団法人国際貿易投資研究所

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

リーマンショックによって引き起こされた米国の金融危機は、ギリシャの債務粉飾の発覚、スペイン、アイルランドの不動産バブルなどにより欧州にも波及し、ユーロ危機をもたらし、ユーロ圏の分裂なども危惧された。しかし、重債務国への融資、金融支援のための制度の整備などにより、危機を回避し、ここにきて経済も徐々に回復傾向にきたように見受けられる。

ユーロ経済圏の景気回復局面で注目を浴びたのが、ドイツ経済の強さである。成長率、財政赤字比率、失業率など EU 諸国の中では良好な数字を示している。また輸出主導で回復を果たしたドイツ経済で注目されているのが、自動車産業とニッチな資本財市場を得意とする中堅機械メーカーの強さである。

中堅機械メーカーの強さは伝統的なものである一方、輸出依存度が高いゆえ、世界金融財政危機のより輸出が大幅に落ち込むなど、大きな打撃を受けた。しかし、賃金の上昇を抑制し、操短補助金などを使うことによりベテランの専門労働者の解雇を回避した結果、世界経済が回復するにつれ、再び強みを発揮している。

このドイツ中堅機械メーカーの強みを探るのが本調査の目的であった。まずドイツ経済の好調ぶりを経済指標で、次に好調な輸出を統計で確認することとした。中堅機械メーカーの強さについては、先駆的な研究を紹介し機械産業部門でのドイツの強さを明らかにしようと試みた。また、機械産業企業が多く含まれるドイツの目立たない世界的な中堅企業の経営戦力、経営の特徴などを紹介することにより、特に中堅企業の強さの秘密に迫ろうとした。

また、専門分野に特化したドイツ中堅機械メーカーの熟練労働者を育成するプロセスとして、評価の高いドイツの職業教育制度についても詳述することとした。近年のドイツの構造改革「アジェンダ 2010」のなかで、特に重要な労働市場改革等についてもふれることとする。

(2) 実施内容

ドイツ中小機械メーカーの国際競争力の調査研究 (<http://www.iti.or.jp/>)

欧州金融・経済危機にもかかわらず、好調さを維持するドイツ経済にあって、自動車産業と並び競争力があるとされるのが機械産業であり、その機械産業を支えているのは高い技術力に支えられた中小企業である。このため研究会を開催するとともに調査検討し、

このドイツ中堅機械メーカーの競争力を多方面から分析した。

<研究会開催>

第1回研究委員会開催 平成25年9月24日

第2回研究委員会開催 平成25年11月25日

第3回研究委員会開催 平成25年12月17日

第3回研究委員会開催 平成26年1月21日



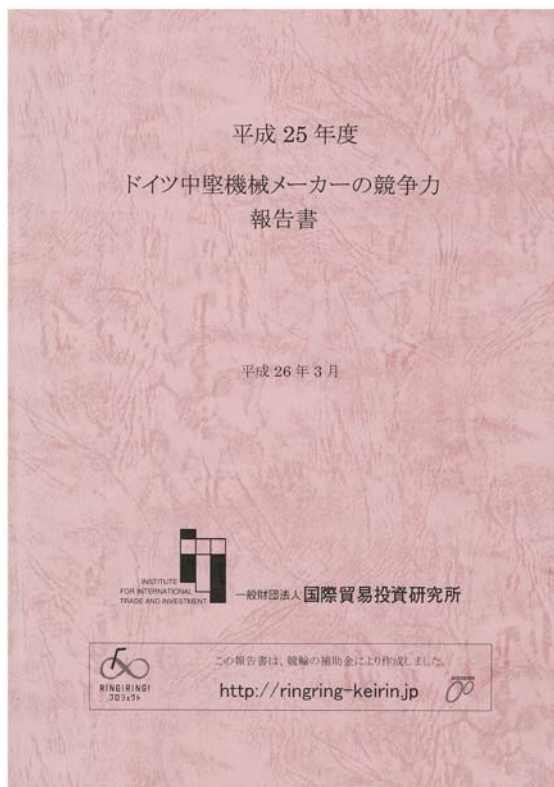
2 予想される事業実施効果

モノづくりを得意とする我が国企業のなかで、企業数、従業員数などで大きな比率を占める中小企業の国際競争力の強化・維持は急務となっている。ドイツの中堅機械メーカーの分析は、我が国中小機械メーカーにとっても大いに参考になる。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

ドイツ中堅機械メーカーの競争力報告書 (http://www.iti.or.jp/report_download.htm)



目次	
第1章 見直されるドイツ経済	1
(一財) 国際貿易投資研究所 奈良 俊三	
第2章 統計に見るドイツの輸出競争力	6
(一財) 国際貿易投資研究所 奈良 俊三	
第3章 ドイツ機械産業の競争力	12
(一財) 国際貿易投資研究所 奈良 俊三	
第4章 ドイツの職業訓練システムの基本的枠組みと今日的意義	26
(他) 労働政策研究・研修機構 藤原 嘉明	
【コラム】米国でもデュアルシステムを	48
(一財) 国際貿易投資研究所 奈良 俊三	
第5章 ドイツの労働市場改革と雇用調整	51
(一財) 国際貿易投資研究所 奈良 俊三 田中 信康	

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般財団法人国際貿易投資研究所（コクサイボウエキトウシケンキュウシヨ）

住所： 〒104-0045

東京都中央区築地1丁目4番5号

代表者： 理事長 畠山襄（ハタケヤマ ノボル）

担当部署： 総務部（ソウムブ）

担当者名： 審議役 寺川光士（テラカワ コウジ）

電話番号： 03-5148-2601

F A X : 03-5148-2677

E-mail : webmaster@iti.or.jp

URL : <http://www.iti.or.jp/>